

水×ITに可能性を感じ



オリジナル設計 水インフラ本部
DX推進部アセットインフラシステム課

高島 知鷹さん

一番に接する立場として、今でもその気持ちを大事にしています。

■働きがい、はたらきやすさ大事に

コロナ禍以前より在宅でも働けるようタブレットPCの支給をはじめとする設備投資、在宅・時差出勤、TV会議システム導入など、各種働き方改革を意識した施策に率先して取り組んできました。また、10月1日付でDX推進部を発足しており、当社がこれまで開発したシステムのブラッシュアップや社内のさらなる業務効率化に向けた、デジタルトランスフォーメーションを推進する各種プロジェクトに取り組んでいます。働きがい、働きやすい環境は業界随一と自信をもって言えます。ぜひ、一度説明会に足を運んでみて下さい。

■経営や事業効率化を支える仕事

東海大学情報通信学部でプログラミング等を専攻していました。同期の大半がIT関連企業を志望する中、視野を広げる中で「社会インフラ×情報（IT）」に可能性を感じ、当時からIT分野に力を注いでいた当社に興味を抱いたのがきっかけでした。

水業界のコンサルという、管路施設関連や処理場・ポンプ場等の施設関連の設計・計画等が主だった印象を持たれていますが、自治体が今後数十年先の経営方針を策定するのを支援する業務や、日々の業務の効率化に資する業務に携わるなど、IT・経営コンサル要素も内包しています。

水インフラ分野でも情報活用が大きな流れとなっており、就活期の直感は正しかったなと感じています。仮に専攻が畑違いであっても、飛び込む勇気が自身の可能性を広げてくれます。

■エンジニアかつアドバイザーとして

上下水道台帳や設備台帳には、施設の諸元情報などの重要な情報が集積している反面、その情報が活かされていないケースが多く、活用できるような提案を図ることが強く求められています。現在の部署では水コンサルエンジニアとして自治体の納入している上下水道管理台帳システムの保守・運用を行っており、時にはアドバイザーとして「何が必要か」どのよ

うな形で貢献できるか」を考え、現場で直面する課題や要望を踏まえ新たなICTソリューション（+α）の提案も担っています。

台帳システム業務をきっかけに数年通い続けるうち、事業の根幹をなす経営戦略の策定業務も当社に任せて

いただけただけありますが、エンジニアとして信頼され、アドバイザーとして悩みを寄り添うことで、顧客の信頼を築き上げられるのだと気が付かされた出来事でした。顧客と

